

目 次

第1章 テキストの概要	1
1-1 テキストの概要	1
第2章 書式の設定（配置）	4
2-1 均等割り付けを設定する	8
2-2 文字をセル内で縦書きにする	10
2-3 セル内の文字を縮小して全体を表示する	13
2-4 セル内の自由な箇所で改行する	15
2-5 文字列を自動で折り返しさせる	18
2-6 文字列を両端揃えにする	20
第3章 書式の設定（表示形式）	23
3-1 自動で表示形式が変換される例	25
3-2 表示形式を文字列の形式に変更する	26
3-3 日付の形式を変更する	28
3-4 ユーザー定義とは	30
3-5 ユーザー定義で文字列を追加する	31
3-6 ユーザー定義で日付形式を自由に編集する	34
第4章 相対参照・絶対参照・複合参照	40
4-1 数式をコピーするときの仕組み（相対参照）	43
4-2 相対参照が働くと上手くいかないケース	44
4-3 コピー時にセル番地を固定するには（絶対参照）	45
4-4 セル番地を固定しながら数式を作成する	46
4-5 行と列の片方だけを固定したいケース	50
4-6 行と列の片方のみを固定するには（複合参照）	51
4-7 行と列の片方のみを固定して数式を作成する	52
第5章 絶対参照を使った関数	57
5-1 関数で順位を求める（RANK）	60
5-2 関数で条件ごとのデータの個数を求める（COUNTIF）	65
5-3 関数で条件ごとのデータの数値を集計する（SUMIF）	69

テキストの画面環境

OS …………… Windows 10

ソフト…………… Microsoft Excel 2019 及び 2016 及び 2013

画面解像度… 1024×768 または 1280×1024 で作成

※本書は、前編の「Excel 初級プラス」テキストから継続して使用するファイルがあります。
中級から学習される方は、下記の URL よりファイルをダウンロードしてご利用ください。

※テキストの作品は、主に倍率を 150% にして作成しています。

第1章 テキストの概要

1-1 テキストの概要

中級テキスト(1)～(2)で学習する内容は下記のとおりです。
 ※次ページの「図形の作成」以降は(2)のテキストで学習します。

書式の設定(配置)

	A	B	C	D	E	F	G
1	中華屋「花風亭」アンケート集計表						
2							
3			とても満足した	おいしかった	普通	いまいちだった	口に合わなかった
4	種・節類	花風ラーメン	36	42	26	1	0
5		炙りチャーシューメン	44	32	13	2	0
6		花風チャーハン	32	45	19	3	1
7	単品料理	特製焼餃子	32	39	11	2	0
8		海老のチリソース煮	16	23	8	0	1
9		鶏の唐揚げ	38	29	10	1	0
10							
11					●お客様からの意見		
12					種類も単品料理も、もっとメニューを充実してほしい。飽きでしまう。		
13					女性向けに油分が少なめな、ヘルシーな料理もあるといいかも。		
14							

書式の設定(表示形式)

中華屋「花風亭」アンケート集計表							
文書番号 15-2-1 集計日 2013年6月15日(土)							
		とても満足した	おいしかった	普通	いまいちだった	口に合わなかった	
種・節類	花風ラーメン	36人	42人	26人	1人	0人	
	炙りチャーシューメン	44人	32人	13人	2人	0人	
	花風チャーハン	32人	45人	19人	3人	1人	
単品料理	特製焼餃子	32人	39人	11人	2人	0人	
	海老のチリソース煮	16人	23人	8人	0人	1人	
	鶏の唐揚げ	38人	29人	10人	1人	0人	
●お客様からの意見							
種類も単品料理も、もっとメニューを充実してほしい。飽きでしまう。							
女性向けに油分が少なめな、ヘルシーな料理もあるといいかも。							

相対参照・絶対参照・複合参照

アルバイト時給計算

	午前 勤務時間数	午後 勤務時間数	昼間の勤務時間数		夜間の勤務時間数		給料合計
			800円	950円	昼間の勤務時間数	夜間の勤務時間数	
浅井	28	32	60	36	48,000	34,200	82,200
池田	43	62	105	54	84,000	51,300	135,300
宇野	45	15	60	25	48,000	23,750	71,750
江川	0	30	30	68	24,000	64,600	88,600
小倉	12	45	57	35	45,600	33,250	78,850

絶対参照を使った関数

カラット雑貨店会員名簿

№	氏名	性別	会員	ご利用額	階位	会員種別数		会員別利用額合計	
1	赤井 真	男	プラチナ	28,100	3	プラチナ	4	プラチナ	98,100
2	乾 尚子	女	プラチナ	26,900	1	ゴールド	3	ゴールド	43,100
3	上島 茂	男	シルバー	2,500	10	シルバー	3	シルバー	16,900
4	江藤 明仁	男	シルバー	5,600	9				
5	大和田 聡子	女	ゴールド	13,500	6				
6	林崎 文美	女	プラチナ	26,800	2				
7	木村 真也	男	ゴールド	18,900	5				
8	久保寺 芽美	女	ゴールド	11,300	7				
9	長城 美恵子	女	シルバー	8,800	8				
10	小谷 誠	男	プラチナ	21,300	4				
						性別ごとの会員数		性別ごとの利用額合計	
						男	5	男	70,800
						女	5	女	87,300

以降は (2) のテキストで学習

図形の作成

社員旅行のご案内

旅行内容	京都観光
日程	5/12~5/13 (1泊2日)
当日の予定	別紙参照 (主に自由行動)
宿泊先	松風旅館
参加費	5,000円

当日は班に分かれて自由行動です。
日頃の疲れを癒し、
思いきり羽を伸ばしましょう！



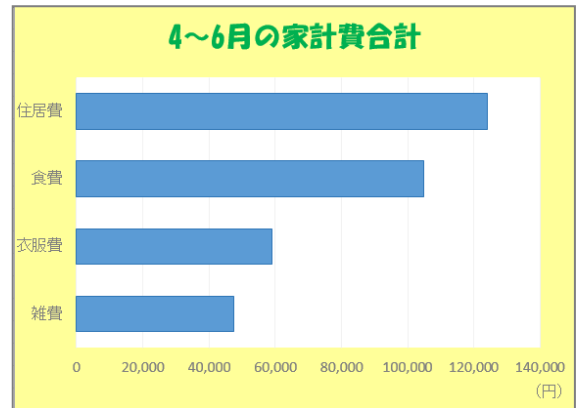
画像の挿入

社員旅行のご案内

旅行内容	京都観光
日程	5/12~5/13 (1泊2日)
当日の予定	別紙参照 (主に自由行動)
宿泊先	松風旅館
参加費	5,000円

当日は班に分かれて自由行動です。
日頃の疲れを癒し、
思いきり羽を伸ばしましょう！

横棒グラフ



グラフの書式 (応用)

我が家の家計簿

費目	4月	5月	6月	合計
住居費	45,000	41,000	38,000	124,000
食費	35,000	42,000	28,000	105,000
衣服費	16,500	19,000	23,500	59,000
雑費	18,000	13,500	16,000	47,500

6月5日

4~6月の家計費合計

食費が月平均
3万円を突破



2-3 セル内の文字を縮小して全体を表示する


セルに収まりきらない文字列を、自動で縮小して全体を表示します。
セルB4～B9に、文字列が自動で縮小するように設定してみましょう。

	A	B	C	D	E
1	中華屋「花風亭」アンケート				
2					
3			とても満足した	おいしかった	普通
4	麺・飯類	花風ラーメン	36	42	26
5		炙りチャーシュー	44	32	13
6		花風チャーハン	32	45	19
7	単品料理	特製焼餃子	32	39	11
8		海老のチリソース	16	23	8
9		鶏の唐揚げ	38	29	10
10					
11					

① 設定したいセルを選択します。

	A	B	C	D
1	中華屋「花風亭」ア			
2				
3			とても満足した	おいしかった
4	麺	花風ラーメン	36	42
5	飯	炙りチャーシュー	44	32

② [ホーム] を選択します。

③ [配置] の  をクリックします。

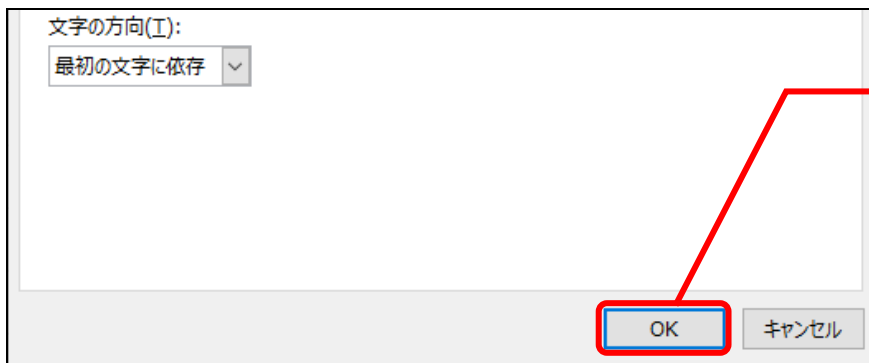


④ [縮小して全体を表示する] をクリックして の状態にします。

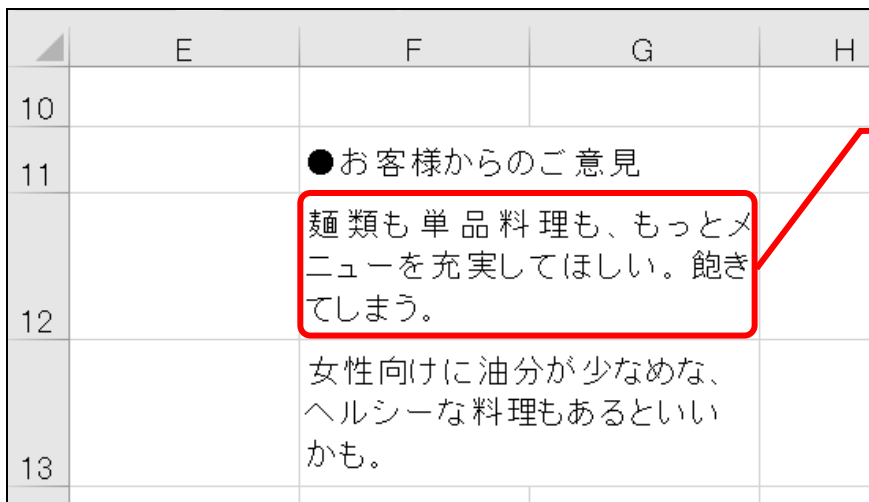
⑤ [OK] をクリックします。

	A	B	C	D	E
1	中華屋「花風亭」メニュー				
2					
3			とても満足した	おいしかった	普通
4	麺・飯類	花風ラーメン	36	42	26
5		炙りチャーシューメン	44	32	13
6		花風チャーハン	32	45	19
7	単品料理	特製焼餃子	32	39	11
8		海老のチリソース煮	16	23	8
9		鶏の唐揚げ	38	29	10

⑥ はみだした文字が自動で縮小して、文字列全体が表示されました。



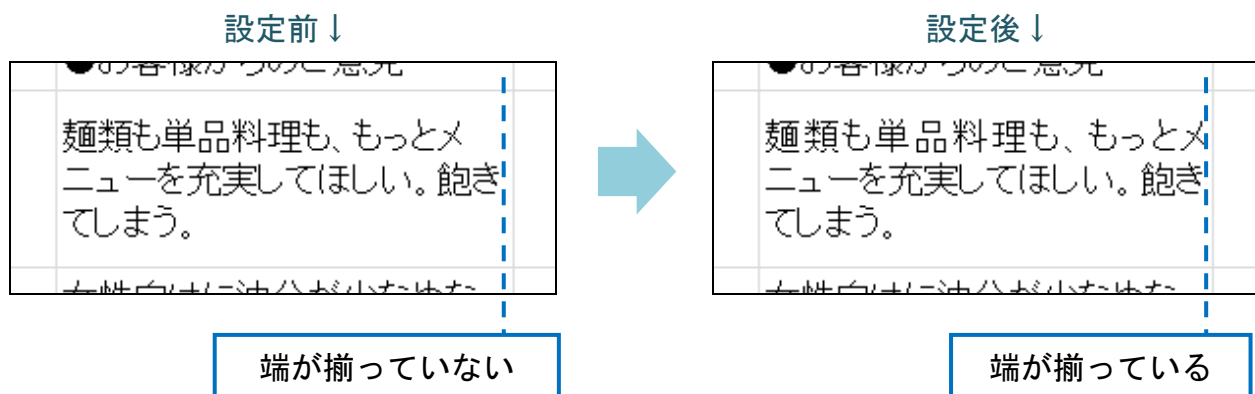
⑥ [OK] をクリック
します。



⑦ 文字列が両端揃え
になりました。

【参考】両端揃えを設定する前後の比較

両端揃えを設定すると、下図のように結果が変わります。



● 両端揃えを設定する

- ① セルF13にも両端揃えを設定しましょう。

	E	F	G
12		麺類も単品料理も、もっとメニューを充実してほしい。飽きてしまう。	
13		女性向けに油分が少なめな、ヘルシーな料理もあるといいかも。	

● 書式を設定する

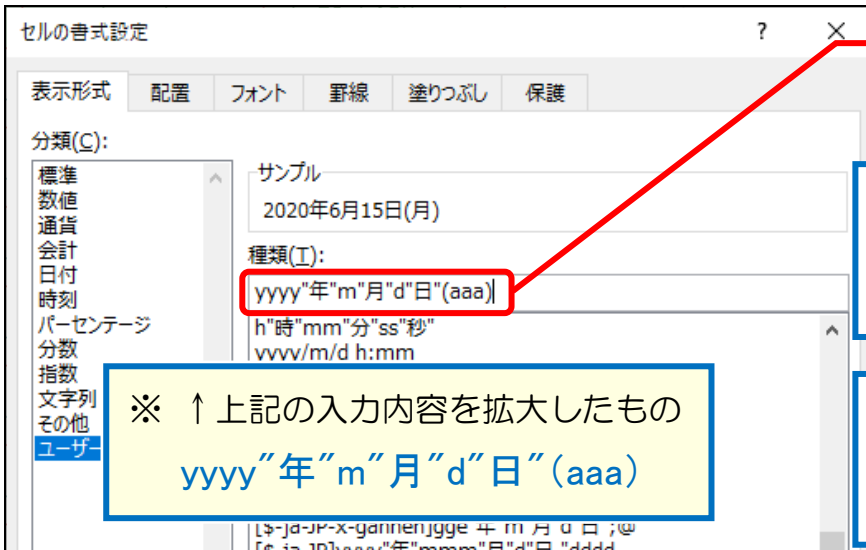
- ① セルF11~G13に、次の書式を設定しましょう。※色は任意

	E	F	G
10			
11		●お客様からのご意見	
12		麺類も単品料理も、もっとメニューを充実してほしい。飽きてしまう。	
13		女性向けに油分が少なめな、ヘルシーな料理もあるといいかも。	
14			

【上図で使われている設定】

- 文字の色…… (セルF11) [濃い赤]
(セルF12~13)
[オレンジ、アクセント2、黒+基本色 50%]
- 罫線の色…… [濃い赤]

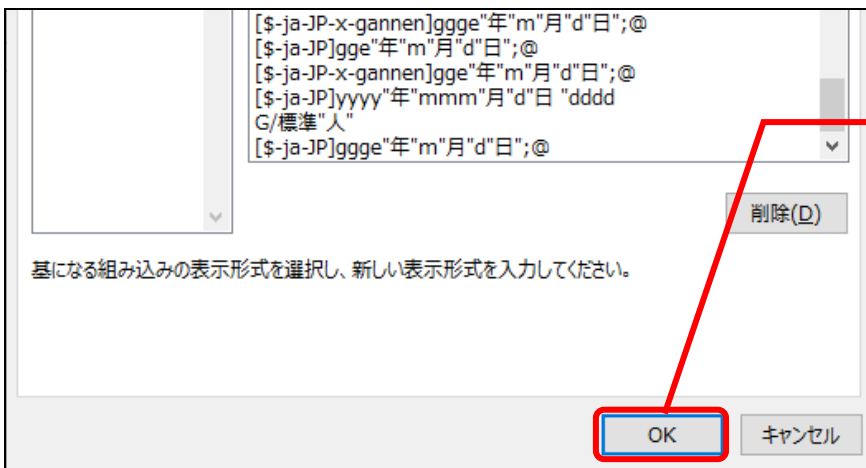
- ② 「花風亭アンケート」と名前を付けて保存しましょう。



⑤ 目的の表示形式を入力します。

※ 日付形式の設定方法についてはP.36の【参考】を参照

※ 日付形式の効率のよい設定方法はP.37の【参考】を参照



⑥ 設定後、[OK] をクリックします。

D	E	F	G	H
	文書番号	15-2-1		
	集計日	2020年6月15日(月)		
しかった	普通	いまいち だった	□に あわなかった	
42人	26人	1人	0人	
32人	13人	2人	0人	
45人	19人	3人	1人	
39人	11人	2人	0人	

⑦ 日付の形式が変更されました。

【参考】日付形式の設定方法

ユーザー定義の欄では、あらかじめ定められている記号や英文字を入力すると、それに対する表示形式が返されます。

下表は、日付の形式で使われる記号と表示例をまとめたものです。

※下表の[表示例]は、日付が「(令和 2 年) 2020 年 8 月 4 日 火曜日」の場合

入力する記号	表示例	表示される内容
yy	20	西暦の下 2 桁
yyyy	2020	西暦 4 桁
ggg	令和	和暦元号
e	2	和暦年
m	8	月
mm	08	月 (2 桁)
d	4	日にち
dd	04	日にち (2 桁)
aaa	火	曜日
aaaa	火曜日	曜日 (3 文字)

上表の記号と、自分で入力する文字列を組み合わせ、表示形式を作成します。

【設定例】

「gggge 年 m 月 d 日」 → 「令和 2 年 8 月 4 日」

「yyyy 年 m 月 d 日 (aaa)」 → 「2020 年 8 月 4 日 (火)」

「yyyy/mm/dd」 → 「2020/08/04」

4-3 コピー時にセル番地を固定するには（絶対参照）

数式をコピーする際、セル番地がずれないように固定するには、セル番地の頭に「\$」（ドル記号）をつけます。（「\$」の入力方法は、次項で学びます）

	D	E
6	昼間勤務の時給	
7	800	
8		
9	昼間の勤務時間数	昼間勤務の給料
10	60	48000
11	105	84000
12	60	48000
13	30	24000
14	57	45600
15		

「\$」を付けたセル番地は、コピーしてもずれなくなる。

=D\$7 * D10

=D\$7 * D11

=D\$7 * D12

=D\$7 * D13

=D\$7 * D14

なお、このように参照するセル番地を固定することを「絶対参照」と言います。

● 次の項の準備をする

① 数式を入力し直すので、セルE10～E14の数式を削除しましょう。

	D	E
9	昼間の勤務時間数	昼間勤務の給料
10	60	
11	105	
12	60	
13	30	
14	57	
15		

4-4 セル番地を固定しながら数式を作成する

セル番地を固定しながら数式を作成する流れを確認します。

セルE10に、セル番地「D7」を固定する計算式を入力してみましょう。

	C	D	E
6		昼間勤務の時給	
7		800	
8			
9	午後の勤務時間数	昼間の勤務時間数	昼間勤務の給料
10	32	60	

① 数式を入力するセルを選択します。

	C	D	E
6		昼間勤務の時給	
7		800	
8			
9	午後の勤務時間数	昼間の勤務時間数	昼間勤務の給料
10	32	60	=D7

② 固定したいセル番地まで数式を入力します。

③ キーボードの[F4]キーを押します。

	C	D	E
6		昼間勤務の時給	
7		800	
8			
9	午後の勤務時間数	昼間の勤務時間数	昼間勤務の給料
10	32	60	=D\$7

④ 固定したいセル番地に「\$」が追加されます。

5-2 関数で条件ごとのデータの個数を求める (COUNTIF)

条件ごとのデータの個数を求めるには、「COUNTIF」(カウントイフ)関数を使用します。

セルI3に、COUNTIF関数で「プラチナ」の会員数を求めてみましょう。

	F	G	H	I	J	K	L
2	順位		会員種別数			会員別利用額合	
3	3		プラチナ			プラチナ	
4	1		ゴールド			ゴールド	
5	10		シルバー			シルバー	
6	9						
7	6		性別ごとの会員数			性別ごとの利用額	
8	2		男			男	
9	5		女			女	
10	7						

① 関数を入力するセルを選択します。

② [関数の挿入] をクリックします。

関数の引数

COUNTIF

範囲 = 参照

検索条件 = 文字列

=

指定された範囲に含まれるセルのうち、検索条件に一致するセルの個数を返します。

範囲 には空白でないセルの個数を求めるセル範囲を指定します。

数式の結果 =

[この関数のヘルプ\(H\)](#)

③ COUNTIF 関数の画面を表示します。

※ [範囲] 欄にカーソルがあるのを確認します。

	D	E	F	G	H	I	J
2	会員	ご利用額	順位		会員種別数		
3	プラチナ	23,100	3		プラチナ	D12)	
4	プラチナ	26,900	1		ゴールド		
5	シルバー	2,500					
6	シルバー	5,600					
7	ゴールド	13,500					
8	プラチナ	26,800					
9	ゴールド	18,300					
10	ゴールド	11,300					
11	シルバー	8,800					
12	ラチナ	21,300					
13							

関数の引数
COUNTIF
範囲 D3:D12
検索条件
数式の結果 =
この関数のヘルプ(H)

④ 対象となる範囲をドラッグします。
例：セル D3～D12

※ 選択した範囲が入力されます。

関数の引数
COUNTIF
範囲 \$D\$3:\$D\$12
検索条件
数式の結果 =
この関数のヘルプ(H)
OK キャンセル

⑤ そのまま [F4] キーを押して、範囲を絶対参照にします。